

オピニオン！

OL に活力を！

伊藤 牧夫（日本オリエンテーリング協会副会長）

日本はオリエンテーリング先進国？

日本のオリエンテーリング（以下OLと略す）は発展途上にあるのか、先進国になったのか。国際大会を日本でドンドンやれるようになったのだから、先進国とも言える。しかし世界の一流選手を相手に金銀銅のメダルをまだ手にしたことがないとあっては、やはり残念ながら発展途上国の一員なのだろうか。日本のOLはこのままでは先細りになりはしないかと心配する

全日本OL大会の参加者の動向を見よう。

| | | |
|-------|-------------|-------|
| 平成3年度 | 岐阜 美濃加茂 | 2057人 |
| 4年度 | 島根 | 1659人 |
| 5年度 | 三重 | 1966人 |
| 6年度 | 栃木 | 1631人 |
| 7年度 | 奈良（主管大阪・奈良） | 2022人 |
| 8年度 | 山梨（主管東京） | 1732人 |
| 9年度 | 広島 | 1080人 |
| 10年度 | 愛知 | 1295人 |
| 11年度 | 福岡（事前登録） | 755人 |

この数字はトリム（最高は奈良で356人）の参加者を含んでいる。平成3年度以降の全日本大会参加者はトリムを合わせて通常は1000人台であり、2000人を辛うじて突破したのは2回あったきり。OLを盛んにするには、常識的なことだが、参加者の裾野を拡大する、トップ集団のレベルを高める、組織を活性化するのが3点に力を集中すればよい。全日本大会ではないが、かつて一つの大会で5000人も集めたことは夢のような話だ。2030年前はいろいろな大会でトリム参加者が結構多かったし、子どもが親といっしょにパーマネント・コースを回っている姿がよく目についた。

国民体づくり運動の一環として政府のPRがそれなりの効果をあげていたといえるし、マスコミもこの新しいスポーツをよく話題にした時期があった。しかしいまやOL参加者が激減した現実を我々は直視せねばならぬ。子どもたちの姿を見るのが少なくなったのは、全国的な少子化現象の一つでもある。いま学校の生徒数は減り、遊園地の入園者も減っている。子どもたちをどうしてOLに引きつけたらいいか、これは重大課題の一つと私は考える。全国一斉大会の開催もパーマネント・コースを整備し子どもたちにOLを楽しんでもらおうというねらいでもある。

いま中高年が屋外スポーツに興ずる姿はある。市民マラソンに参加する白髪の年配者もいれば、歩け歩け運動に熱中するアベックが結構いる。山歩きが盛んなのは、山道をたどる楽しみがあり、自然と交流する感動を持ち続けているからだ。それでいながらどうしてOLに集まって来ないのか。コンパスの操作や地図読みを面倒だと思うのだろうか。OLを取りまく環境や条件の厳しさを認識して、少子化対策はもちろん学校での社会科、体育科課目、会社での新入社員研修などにOLをもっと活用してもらわねばならない。

OLの人気を高めるには見せる場面をつくる工夫もいるが、スター選手の養成にもっと力を入れたらどうだろう。彼あるいは彼女はメダリストでなければならぬ。国際大会での国民的英雄やヒロインの誕生は間違いなしにOLの注目度を高めるであろう。これは他のスポーツ競技を見ても歴史的にみなそうだ。スター（ベテラン）を育成するために協会は国際交流予算を組んで支援するとかいろいろ検討すべきであろう。

組織の活性化を！

組織の活性化も重要な柱である。そのためには財政基盤の強化を具体的に進めていく必要がある。協会はご承知のように、森永乳業さんの絶大なご協力、ご支援のおかげで運営されており、心から感謝申し上げている。その森永の社長さんであり協会会長である大野晃さんがOL特別振興基金の設立を提案された。これはまさに組織活動を強化するために必要な基金である。ところが森永さんの募金を除くと目標金額840万円に対して現在576万円にしか達していない。未納県が13県もある。各県それぞれにつらい事情もあると察するが、是非ご協力をお願いしたい。お金のことで申せば、法人設立のさいの入会金が1県50万円のところ全体としてはまだ306万円不足している。これもなんとかしていただきたい。財政基盤の確立は協会の体質強化のための基本条件である。会員としての任務はまず果たさねばならぬと思う。

紙面が尽きてきたので、先を急ごう。いまOL大会の主体はもちろん競技である、主力は学生と学生OBである。学生が集まるのは力強いことである。もちろん70歳、80歳の競技参加もうれしいことだ。しかし学生は若い。輝かしい未来がある。学生の力をもっと組織の中で発揮させるシステムをなんとか考えられないものか。学生の力を吸収するとともに組織の若返りをはからねばならぬ。日本の各界がそうであるように協会役員も思いきり若返りが必要であると思う。